

向かい風

北村あやこの桶川市政レポート

[No.48] 2007年 9月発行

市民に目を向けた桶川に



太陽に向かって、一面に広がる

ムクゲの木。緑に映える紫色の花、その華やかさは、心を明るくします。

今までにない猛暑、地球温暖化の波をひしひしと感じますが、皆さんの体調はいかがでしょう？

私自身は、選挙を機に14年間の議員生活を離れましたが、その分、改めて一市民として学ぶことが多く、市民活動に、市政のチェックにと、多忙ながら充足した日々々に感謝しています。

でも、どんな時にあっても、想うのはわがまち。時間の許す限り議会を傍聴し、市政を見守ってきました。

無計画なドタバタ政治

庶民が見えない安倍総理。桶川市政もまた同じで、最近、ますます市民や議会を置き去りにした不祥事が目につきます。庁舎問題で709万円の違約金。医師会に毎年

一千万円以上を出して、職員を派遣する議案も、議会の反対で撤回されるなど、独断専行の市政にほころびが出ています。

未来あるやさしいまちに

皆さんはどんな桶川を望みますか？ 格差社会は深刻で、福祉の充実と共に、市独自の経済政策が、

暮らしやすいまちを支えます。田畑に作物が実り、緑いっぱい住宅地。未来のキーワードは、福祉と農業と環境だと思えます。高速道路建設が目白押し桶川市。企業誘致ばかりでなく、20年後を見据えた生活重視のまちづくりを一緒にしませんか。

情報公開でわかりました

会計課の「05年度百万円以下の工事支出伝票、請求書と見積書」を昨年から情報を請求し、ダンボール数箱の資料を調査しました。

担当別	件数	円
教育委員会	395	52,642,186
健康福祉部	65	5,037,555
都市整備部	129	34,035,674
財務課	25	4,256,007
市民生活部	83	23,047,483
総額	697	119,018,905

最も多い教育委員会を調査した結果、水道工事の(有)工設備が、二重請求していたことがわかりました。

▼同じ工事の請求書を3日後に日づけを変えて出す。↓市の担当者は伝票のタイトルを変え、工事検査印も3日ずらして書類を作成↓決裁は2週間ずらして提出↓会計課は2枚の伝票で振り込んでいました。

▼また、工設備分で3月31日に工事終了の検査印がある伝票が7枚、4月以降に工事をし、伝票を操作していることがわかりました。不正はなぜ？

監査請求をしました

不正によって生じた市民の損害を市長に要求しました。

①二重払いした2件の工事14万2420円を市長が返還すること。

②工事前に、検収印を押した工事7件209万8831円は、他社の見積もりを取らずに契約、支払いも確認していない。よってその損害分を1割として、20万883円を市に返せ。との内容です。

―監督責任を市長が認めやすいように、金額を少なくしました―

▼これは氷山の一角です。教育委員会の水道工事は、工社がほぼ独占、他社の見積もりもありません。

一緒に市政オンブズマンをしませんか？

私たちは、政党に関係なく、市政について情報公開・分析し、問題を明らかにしています。皆さんの声や力が必要です。関心のある方は、市民の会にご連絡下さい。

水道工事代金 二重払いと公文書偽造

ずさんな会計・無計画な庁舎建設

市長の責任は?

前払いもあつたずさんさ

▼誰がいつ、どんな工事をやったのか、確認するシステムがありません。請書(契約書)も作成しないので、金額が適切なのか判断できません。どの学校も業務日誌に工事の記録があまりありませんでした。

▼見積書も工事終了後、日付だけを交え、請求書と同時に送られています。「言い値」での支払いが横行、6月の工事を5月に前払いというのがあります。

監査結果はズレ・市は反省もない

▽今回の監査委員は、実態解明に努力し、不正を認めた事は一歩前進です。しかし結果は、「是正の勧告をし、市が改善策を報告した」だけ。業者も二重払いを返還しただけです。

▽問題は、市内部で実態解明と原因を調査せずに、業者に始末書を書かせ、職員は文書注意のみ。不正に甘い桶川市です。

(これを機に、市は急ぎよ昨年度分を調査。4件、49万円の重払いを発見しました。)

庁舎・基本設計契約解除に709万円支払い

庁舎問題は、設計契約を解除し、損害が発生しました。2年前に「現在の場所に建てる」と決め、以下の経過をたどっています。市民不在のツケが出ました。



同じ請求書で2種類の表題で出された支出票



04年	7月	駒松田・平田	新台東病院8366円で落札
	12月	市役所隣接地鑑定	111,000円/m ²
05年	2月	用地交渉開始	
	3月	公取委	駒松田・平田に注意
	8月	現在地に建設を市長決裁	
06年	3月	指名選定委員会(基本+実施設計8社)	
		プロポーザル選定委員会発足	(市民2名、学者+設計士+助役)
	4月	地権者との物件補償、買収協議	
	5月	プロポーザル選定委員会(駒松田・平田決定)	
	7月	駒松田・平田と基本+実施設計契約	
	8月	議会全員協議会(借地計画を説明、4人の議員が追及)	
	9月	議会決議(慎重に、土地購入で建設を)	
07年	1月	現在地建設断念・議会に報告	
	2月	契約解除、請求書802万円	
	3月	市、709万円を支払い(議会報告せず)	
	6月	一般質問で、違約金支払いが判明	

▽用地交渉の見通しが暗いまま、指名委員会、プロポーザル選定委員会と、見切り発車し、市民はカヤの外にいました。

▽22億の建物。設計は、市民投票など、模型を示して市民で選ぶもの。それを非公開で1社15分のヒヤリング、1回の会議で設計業者を決めたのは、不可解です。

▽市の提案は、「土地を売ってもらえないので年5百万円で借り、その借地の容積率を庁舎にプラスし、容積率を割り増しする」という荒手の手法。借地を第3者が所有した場合、容積率不足の「違法建築」になるというリスクを背負います。

▽これに対し議会は「土地を取得して庁舎を建設するよ」と決議を出しました。

▽結局、土地は購入できず、3月には、設計業者との契約を解除、709万円の違約金を払う羽目になったわけです。

このお金、市にモラルと常識があれば、払わなくて済んだのです。



市が指名した設計業者の駒松田平田設計は、1年半前の新台東病院の設計入札で、予定価格3600万円に対し、8366円(0.2%)で落札し、公取委に「独禁法の未然防止」の観点から注意を受けた会社です。

神明2丁目に450マンション

区画整理組合から「3階までの地域」と説明され転居、一戸建てが多い地区。市はここに、1フロア3軒15階の鉛筆ビルを開発を許可しました。建築主の川口土木(株)は説明会に出席せず、市も指導を怠っています。「紛争防止条例」があるのに行政サービスは業者に向き、住民不在です。

第9回 桶川宿本陣かがり火狂言

10月13日(土) 午後6時半～8時30分

京都茂山家 トーク 柿山伏 吹き取り

◎場所 中仙道桶川宿本陣午後5時半開場

◎チケット販売中

- ・座敷席 5千円(45席)
- ・棧敷席 3千500円(200席)

申し込み問い合わせ かがり火狂言実行委員会

池田花店 771-3159 亀屋薬局 771-1029

山口呉服店 771-1105 北村 774-8507

10月14日(日)午後 小学生の狂言ワークショップ

狂言・鬼瓦 小学生・保護者無料 一般千円